

《令和 6 年度の経過と評価》

奏楽のテーマ『みんなで笑顔あふれる職場を作ろう！』を開所時から継続して大切に事業運営を行なってきた。利用者一人ひとりが、よりよく生きること（強みを生かし達成感を得る等）、日々の満足度の向上を目指してきた。そのための手段として、日中活動種目（生産活動・余暇活動）を設定してきた。

生産活動については、どんなに重い障害を持った方でも参加できるように、一人ひとりの能力に応じて工程を細分化するよう努めた。身近な物や、ホームセンター等に売っている物を見て、これは使えるのでは？と想像力を働かせて治具の製作にチャレンジした。「できないこと」が「できること」に変わったことにより、周りから認め、褒められる機会が増え、本人の自信の向上に努めることができた。本人の希望も考慮した上で新たな可能性の追求として、ジョブローテーションを以前から行ってきたが、本年はさらに時間や対象者を増やす事が出来た。また、他の作業班の利用者を受け入れることによって、職員の支援の幅を拡げることができた。

職員間の情報共有については、朝礼と終礼の実施を継続して行えた。終礼では主に課題点の振り返りが多いが、良かった点、他の支援者から学んだことなどを共有する機会が少なかった。次年度の課題としていきたい。送迎や会議等で参加できない職員のために、グループメールを通じて全職員で共有をし情報に偏りが起きないようにした。しかし、振り返りで提供された情報が支援記録やグループメールに反映されなかったり、今後の対策など深掘りしたほうが良い内容がそのままスルーされてしまったりと、進行する職員の意識、レベルアップが求められたが継続課題となった。

毎月の班会議、支援会議、職員会議等の中で、「自分のしてほしいことを他の人にも行ない皆が笑顔で主役になれるように支援する。」と言うことを繰り返し確認した。また、会議では事前に資料を配布し、当日までに考えてもらうような課題を提供するようにするなど、会議内容のレベルアップに努めた。まだまだ不十分なところも多くあるが、改善への意識づけは少しずつだが出来てきた。

事業運営については、利用契約者は 32 名と昨年度と変わらないが併用利用者もあり、曜日によっては若干の空きが出てしまった。また、休みの多い利用者には、作業内容の見直しや、スタンプカードを活用するなど楽しく出勤が出来るような工夫を行なった。見学希望者については、将来の利用希望や事業所を知ってもらうため、また職員への良い刺激にもなるため、積極的に受け入れを行った。

組織づくりに関しては、中・長期的視点での人材育成として、法人主導のもと「人材育成を目的として 1on1 ミーティングの取り組み」にチャレンジしているが、進め方に個人差が見られ、標準化に向けての課題が残った。また、法人主導で経営会議、管理者会議、各種の委員会を設定して、事業所間でのコミュニケーションの向上に努めた。また事業所間の兼務を行なうことにより他事業所の仕事についての理解促進を行なった。

地域との関わりについては、8 月に石巻校区納涼夏祭り、11 月に文化祭が石巻校区で開催され、運営・参加に協力することができた。コロナ禍以降の取り組みとして、事業所前にて「ぶっくの日」と題して青空マルシェを毎月行う計画を立て、1 年間で 9 回開催することができた。毎回楽しみに来てくださるご近所さんも沢山おり好評を得た。また、地元の保育園や小学校に声をかけて、芋ほりやブルーベリー狩りへの招待を行った。法人全体の取り組みとしては、石巻山のゴミ

拾いを引きに続き行った。毎年続けていくことにより協力者も増えてきた。

【喫茶班（Café 奏）】は、一般の方と接する機会の多い作業班であり、多くの利用者が接客をすることを希望している。しかし、オーダーミスが多く、一部の利用者しか関わっていない。出来る限り支援者が付き添い支援を行なったが、混雑時などは、どうしても目が届かないこともあり、対応が不十分になる事もあった。後半、新たに、イラストを取り入れたオーダー表を作成したがまだミスが多く練習が必要。来客がないと仕事にならないため店舗の周知のために

Instagram、ブログ等、SNS の活用を積極的に行なった。店舗情報だけでなく、利用者の活動状況も発信し障害理解のための情報発信にも努めた。法人内の釜めし専門店くうとの共通スタンプカードを作成し、法人内の店舗をお客さんが行き来できるようにした。メニューについては、季節感を重視した期間限定品の提供、自家栽培でのバタフライピーティーやドライ加工品の提供、合成着色料を使わずに見た目も綺麗な蒸しパンの提供、楽²班が丹精込めて作った自然栽培の作物、完熟ブルーベリーは、スムージー、サツマイモは、鬼饅頭に加工し好評を得た。しかし、一連の作業の中で利用者が関わることが少ないのか今後の改善点。また、金田住宅に限ってではあるが無料配達をする等など工夫を行い集客、地域貢献を行なうことが出来た。配達には利用者も出かけ元気にあいさつする等、地域と関わり、やりがいを感じる事が出来た。

【焼き菓子班（OYATU 工房という）】は、原材料の高騰に伴い定番の焼き菓子の値上げを行なった。商品については飽きの来ないように季節感を大切に商品づくりを行なった。また、ペット（犬）と一緒に食べる事の出来るシェアクッキーを開発するなど切り口を変えた商品づくりにも挑戦した。購入しやすい価格設定、柔軟なギフト商品作りも人気があり個人での大量注文も多かった。班としても畑を間借りして野菜（生姜、ハーブ、人参、小松菜、ミニトマト等）を育てて商品に変えていくと言う 6 次化産業的な体験も続ける事が出来た。また、楽²班で収穫した自然栽培の野菜も多く取り入れた商品も製造している。手荒れがあり製造に関われない方の作業設定としてラベルを手書きにする等、手間をかけることで利用者の関わる事の出来る作業が増えている。お客さんからはイラストが可愛いと評判も良い。また、体力的に、一日中立ち作業を行うのが難しい利用者もいる事から、楽²班のシール貼りの作業を分けてもらう等、納期が長く負荷の少ない作業も設定した。他にも体力づくり、駐車場などの環境整備、たんぽぽルームの活用、生産活動以外の活動にも力を入れ、頑張る時と、ゆっくりする時を上手に設定することが出来た。

【軽作業班（楽²）】では農作業（農薬も肥料も使わない自然栽培）を軸とした組立てを行った。全国的な組織である自然栽培パーティーに参加し、月 2 回の WEB による勉強会に参加して作物の栽培、販売方法、利用者の仕事づくりなどの情報交換を頻繁に行った。他事業所の職員との交流により知識の向上やモチベーションアップが図られ事業の拡大に貢献できた。主力の作物のブルーベリーは、好調でブルーベリー狩りを Café かなでとのタイアップで魅力的な展開を考え実施し好評を得た。生のブルーベリーの納品先も開拓し売り先に困ることは無かった。サツマイモは、収量は多かったが、一部質の悪いものもあり例年に比べるとロスは大目であった。天日干しの干し芋の味には定評があり、販路に困る事はないため栽培技術を向上させて安定供給を行なっていく必要がある。夏場の暑さは年々厳しくなっており、熱中症対策のため、短時間での作

業設定、公用車の常駐とエアコンの稼働、首掛けタイプの保冷剤、ミスト式の大型扇風機の設置、経口補水液の提供など健康面にも配慮した。委託作業については、人參の袋詰を集荷、納品の場所が離れており、一部職員の負担が大きいのが課題となっていたため。年度途中で終了した。もう一つの委託作業の犬のおやつや袋詰めの作業について切り分けて流れ作業とすることにより、ほとんどの利用者が関わることが出来ている。一部関われなかった方も、治具を工夫することによって取り組めるようになって来た。委託作業を一つにしたことにより余裕が生まれ、健康体操や、ゲームをするなど、余暇活動を充実させることが出来た。また、二ホンミツバチの養蜂にもチャレンジした。途中で巣が崩壊してしまったが貴重な経験となった。職員、利用者ともに数が多いこともあり、職員間の連携不足で設定が十分できないこともあった。外部への周知として SNS の活用としてインスタグラムの投稿を頻繁に行いフォロワー数が増えてきている。

《重点課題に対する取り組み》

1. 運営基盤の強化（運営・管理体制、サービス管理）

職員体制については、経験を積んだ職員が異動になってしまい不安があったが、他の職員が頑張ってくれ不足を感じなかった。事業所間の連携について何がどこにどれだけの必要なのか、チームを通して大枠では事前に確認することでスムーズな協力を行なうことが出来た。一方で、細かい部分ではすれ違いや言葉の行き違いなども見られた。今年度は、職員の働きやすさにも力を入れ、昼休憩が時間通り取れるように工夫をかなり改善された。有給休暇については、人によって取得率に差が見られた。年度末に取得希望が増えて人員配置に苦労した。計画的な取得を進めていきたい。

2. 利用者サービスの拡充

法人理念のもと、『どんなに重い障害をもっている、立派な生産者と認めあえる』ように障害特性に配慮しながら生産活動を中心とした事業運営に努めた。生産活動では、重い障害を持った方でも自信をもって関わられるように作業工程を細分化、単純化する取り組みを進めた。また、すべての作業が出来るようにするのではなく、短時間でも得意をいかせるような設定を行い『私の出番』の機会を増やせるように工夫した。また、本人の希望や職員の推薦でジョブローテーションを定期的に取り入れ新しいことにチャレンジを促すなど出来る事の幅を拡げる働きを行なった。生産活動では創意工夫を行い3班合計での売り上げを増やし、年度末には、設定外の特別工賃を出すことが出来た。お互いを認めあう活動として、毎日の帰りの会の際に『いいねタイム』は続け、利用者の良かった言動を互いに褒め合う時間を続けている。クラブ活動（レクリエーション、書道、リズム体操、太鼓、茶道、ダンス、さをり）については利用者本人の選んだものを楽しむことが出来た。日帰り旅行や活動日については、いくつかの方面の中から自分で行きたい所を選択する機会も提供し自己選択、自己決定が行えるように工夫した。法人全体の忘年会については、コロナ禍以降の飲食業界の人材不足が影響し、大人数を受け入れてくれる店舗が見つからず、小規模の和食の食べ放題店を貸し切った。食事後はカラオケタイムもあり楽しむことが出来た。

3. 人材育成/支援力の向上

事業所・職員の役割として、利用者一人ひとりが『その人らしく、より輝いていけるよう』支援する事が根幹であり『自分が当事者や家族だったらどうしてもらいたいか、どうしたら喜んでもらえるか?』という視点を大切にするように会議など様々な場面で繰り返し、確認を行ってきたが、職員間でも差があり全職員に根付かせたい。職員研修については、事業所の指名に加え、本人希望も考慮した。伝達研修については、時間が十分とれず、改善していく必要がある。法人全体研修では、講師を招いての研修取り組みの発表など様々な内容であった。研修後の親睦会として初めて食事会をし職員間の交流促進を行なうことが出来た。

《 地域活動：事業所の社会化 》

福祉体験学習・ボランティア体験学習・職場体験学習等 受入日／人数					
受入日	学校名	人数	受入日	学校名	人数
5/21.22.24	中部ビューティーデザイン	2	11/26～29	石巻中学校 2 年生	2

《 事業所外生活支援：自立（律）生活訓練（宿泊体験）の連絡・調整 》

自立（律）生活訓練（宿泊体験） 人数												
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
延べ人数	0	0	0	0	0	0	0	0	5	6	4	3
年間延べ人数： 18 人												

《 防災計画・安全管理：防災訓練、防災委員会活動 》

防災訓練・学習 実施日			
4 月	未実施	10/30	防災学（楽しく学ぶ防災クイズ）
5/23	防災訓練（地震想定）	11/27	防災訓練（火事想定）
6/26	防災学習（台風編）	12/25	防災学習（防災クイズ、こんな時どうする）
7/31	防災訓練（火災想定）	1/23	防災訓練（火事想定）
8/30	防災学習（風水害編）	2/26	防災学習（クイズ地震、火事編）
9/25	防災訓練（地震想定）	3/15	総合防災訓練（防災食作り体験、発電機、防災グッズ作り） 引き取り訓練

防災委員会活動	
5/17	今年度年間計画、備蓄食料確認、近隣利用者在住把握、防災 BCP,感染症 BCP の更新 利用者・職員個人カードの更新
9/20	6 月研修の振り返り、防災 BCP,感染症 BCP の内容確認、周知に向けての検討
12/20	感染症研修準備、3 月総合防災訓練の内容検討、防災 BCP,感染症 BCP の見直し
2/21	感染症研修確認、3 月総合防災訓練の検討、確認、BCP 見直し、最新版に更新

《 地域活動：事業所の社会化 》

福祉体験学習・ボランティア体験学習・職場体験学習等 受入日／人数					
受入日	学校名	人数	受入日	学校名	人数
5/21.22.24	中部ビューティーデザイン	2	11/26～29	石巻中学校 2 年生	2

《 事業所外生活支援：自立（律）生活訓練（宿泊体験）の連絡・調整 》

自立（律）生活訓練（宿泊体験） 人数												
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
延べ人数	0	0	0	0	0	0	0	0	5	6	4	3
年間延べ人数： 18 人												

《 防災計画・安全管理：防災訓練、防災委員会活動 》

防災訓練・学習 実施日			
4 月	未実施	10/30	防災学（楽しく学ぶ防災クイズ）
5/23	防災訓練（地震想定）	11/27	防災訓練（火事想定）
6/26	防災学習（台風編）	12/25	防災学習（防災クイズ、こんな時どうする）
7/31	防災訓練（火災想定）	1/23	防災訓練（火事想定）
8/30	防災学習（風水害編）	2/26	防災学習（クイズ地震、火事編）
9/25	防災訓練（地震想定）	3/15	総合防災訓練（防災食作り体験、発電機、防災グッズ作り） 引き取り訓練

防災委員会活動	
5/17	今年度年間計画、備蓄食料確認、近隣利用者在住把握、防災 BCP,感染症 BCP の更新 利用者・職員個人カードの更新
9/20	6 月研修の振り返り、防災 BCP,感染症 BCP の内容確認、周知に向けての検討
12/20	感染症研修準備、3 月総合防災訓練の内容検討、防災 BCP,感染症 BCP の見直し
2/21	感染症研修確認、3 月総合防災訓練の検討、確認、BCP 見直し、最新版に更新

《 職員研修 》

研修の実施状況

月	内容	対象者
4 月	自然栽培パーティ勉強会（オンライン）	生活支援員
5 月	リーダー研修 自然栽培パーティ勉強会（オンライン） 虐待防止研修	管理者 生活支援員 生活支援員
6 月	権利擁護虐待防止研修 リーダー研修 中堅職員研修 第1回法人全体研修（感染症対策、救急救命）	管理者 主任 生活支援員 事業所全体
7 月	リーダー研修 生活介護事業所連絡会 自然栽培パーティ勉強会（オンライン）	管理者 主任 生活支援員
8 月	キャリアパス研修（管理職員コース） リーダー研修	主任 主任
9 月	リーダー研修 療育研修会（インシデントプロセス） サビ管研修 キャリアパス研修（リーダーコース） 身体拘束適正化・虐待防止研修 第2回法人全体研修（法人をより良くするためのプレゼン）	管理者 生活支援員 主任 生活支援員 事業所全体 法人全体
10 月	セルフ事務員研修 リーダー研修 強度行動障害支援者養成研修（基礎）	事務員 主任 生活支援員
11 月	リーダー研修（ハラスメント） 食品衛生講習会 自然栽培パーティフォーラム	管理者・主任 生活支援員 生活支援員
12 月	強度行動障害事業所見学 サビ管研修 リーダー研修 第3回法人全体研修（虐待防止アンガーマネジメント）	生活支援員 主任 主任 法人全体
1 月	リーダー研修 自然栽培パーティ勉強会（オンライン） 強度行動障害者支援者養成研修（実践） 食品衛生責任者養成講習	管理者 生活支援員 生活支援員 生活支援員
2 月	農福連携研修 セルフ共同研修会 OJT 指導者研修 リーダー研修	生活支援員 管理者・生活支援員 主任 主任
3 月	第4回法人全体研修（BCP、たんぼぼルームの未来について） リーダー研修 農場視察・農業実践研修	法人全体 管理者 生活支援員

《 生産活動 売上金額 》

生産活動売上状況

月	奏+といろ 売上金額 (円)	楽 2 売上金額 (円)	計 (円)
4	432,917	146,056	578,973
5	388,345	187,380	575,725
6	468,366	264,342	732,708
7	526,932	535,555	1,062,487
8	447,286	376,869	824,155
9	504,160	139,911	644,071
10	814,700	100,849	915,549
11	535,380	146,374	681,754
12	514,545	211,156	725,701
1	352,295	238,462	590,757
2	372,178	224,899	597,077
3	555,383	200,247	755,630
計	5,912,487	2,772,100	8,684,587

《 原材料費率＝原材料費／売上金額 》

原材料 費合計	1,473,951	187,822	1,661,773
比率	24.9%	6.8%	19.1%

【障害支援区分別人数】

生活介護

性別	区分 6	区分 5	区分 4	区分 3	区分 2	区分 1	非該当	合計
男性	4	7	8	1				20
女性	6	4	2	0				12
合計	4	9	11	1				32

※平均障害支援区分： 4.9

【年齢別人数】

生活介護

年齢 性別	20歳 未満	20-25	26-29	30-39	40-49	50-59	60 以上	合 計
男性	0	8	3	3	2	3	1	20
女性	0	1	2	1	4	4	0	12
合計	0	9	5	4	6	7	1	32

性別	平均年齢	最低年齢	最高年齢
男性	34歳3ヶ月	21歳1ヶ月	60歳0ヶ月
女性	42歳8ヶ月	22歳10ヶ月	53歳11ヶ月